



研究 × アート

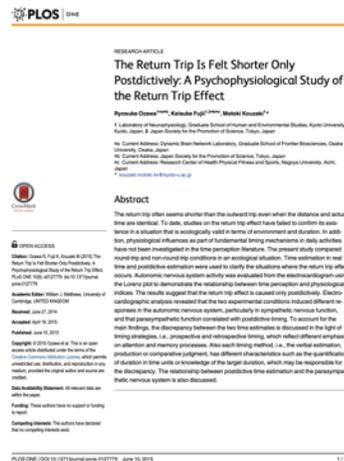
を手がけるクリエイター集団

論文×音楽,イラスト



魚が鏡を見て自分と認識していることを示した論文をインスト楽曲&イラスト化

論文×音楽,MV



行きよりも帰の方が時間が長く感じる現象（往復効果）を楽曲 & ミュージックビデオに。



Voice of MUON

音のない声が今
聞こえた気がした

楽曲&小説

Inspired by Tanaka, H. K. M.

Instant snapshot of the internal structure of Unzen lava dome, Japan with airborne muography.
Sci.Rep.6, 39741; doi: 10.1038/srep39741 (2016).



玖馬巖（くま いわお）

SF作家



<Profile>

- データ分析やDXを専門とする会社員として勤務しつつ、「物語×サイエンスコミュニケーション」をテーマにSF作家として活動
- 学術研究をモチーフにしたエンタメ作品群を製作するクリエイティブレーベル「Academimic」メンバー（2024年～）
- 北海道大学CoSTEP選科Bコース修了（17期）
- 第11回日経「星新一賞」一般部門優秀賞（旭化成ホームズ賞）
- 近作にAI時代のサイエンスコミュニケーションの姿を描いた「みをつくしの人形遣いたち」（正井 編『大阪SFアンソロジー』社会評論社/Kaguya Books 収録）等



こへ
kohe

楽曲/動画制作

素粒子物理実験においてミューオンに関する研究で修士号を取得

IT企業にて画像認識AIを用いたソリューション開発を行う傍ら、
Academimicにて自然科学研究の経験を生かした表現活動を行う



宮田龍 / Ryu MIYATA

株式会社アラヤサイエンスコミュニケーター/
日本SF作家クラブ会員

日本科学未来館科学コミュニケーターを経て現職。
アラヤではサイエンスコミュニケーターとしてコミュニケーションプロジェクト「Neu World」などの活動に従事。

AIやニューロテック、ロボットなどの科学技術を中心にDE&Iなど社会課題をテーマにした科学コミュニケーション活動を行っている。

また、SFプロトタイピングを応用した科学コミュニケーション手法の開発・研究に取り組んでいる。